

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：社会福祉諸費

事業名 **新**救護施設等施設整備事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部地域福祉課生活支援係 電話番号：058-272-1111(内 2647)

E-mail： [c11219@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11219@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 10,000 千円 (前年度予算額：0 千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	10,000	0	0	0	0	0	0	0	10,000
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 2 要求内容

## (1) 要求の趣旨(現状と課題)

大垣市が設置している「牧野華園」は、県内唯一の救護施設であり、市内在住の被保護者のみならず市外からも受入するなど、入所率は約90%と高い稼働率を保っている。

当該施設については、平成4年度の改築以降、部分的な施設改修にて対応してきたが、老朽化が進んでいることもあり、大規模改修が必須の状況となっている。

今回の大規模改修については、現在、市が策定中の個別施設計画に基づくものであり、今後も、救護施設として適正に維持・運営していくにあたり不可欠な事業である。

## (2) 事業内容

市が当該施設を適正に維持していくため、外壁改修、屋上防水、照明設備・昇降機更新などの大規模改修を順次実施していくにあたり、県は必要な費用について支援する。

【大規模改修工事（予定）】

単位：千円

年度	工事内容	事業費（予定）	県補助額（1/4）
R 3 年度	外壁改修	40,000	10,000
R 4 年度	屋上防水	28,000	7,000
	照明設備更新	2,000	500
R 5 年度	昇降機更新	30,000	7,500
R 6 年度	ボイラー更新	5,000	1,250
合 計		105,000	26,250

（３）県負担・補助率の考え方

今回の大規模改修にあたって、市から県への財政支援について要望があり、必要な経費について応分の負担をするもの。

補助率については、国庫補助事業「社会福祉施設等施設整備費国庫補助金」における県の補助率と同率（県補助率 1/4）とする。

（４）類似事業の有無

なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	10,000	施設整備にかかる補助金
合計	10,000	

**決定額の考え方**

事業内容を精査し、計上を見送ります。

4 参考事項

（１）各種計画での位置づけ

大垣市個別施設計画（策定中）

（２）国・他県の状況

国庫補助事業「社会福祉施設等施設整備費国庫補助金」については、当該施設は公施設であるため補助対象外

（３）事業主体及びその妥当性

事業主体は、当該施設を設置・運営する大垣市である。

## 県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	救護施設等施設整備事業費補助金
補助事業者（団体）	大垣市 （理由）救護施設を設置する市町村
補助事業の概要	（目的）大規模改修による適正な施設整備 （内容）大規模改修に伴う施設整備費への支援
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）1 / 4 （理由）類似の国庫補助事業と同率
補助効果	適正な施設の維持・運営
終期の設定	終期令和6年度 （理由）市の個別施設計画の最終年度

### （事業目標）

<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>市が策定中の個別施設計画に基づき、当該施設の大規模改修を進め、施設を適正に維持していく。</p>
---

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H**年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
①			
②			

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	千円	千円	千円	(予算額) 千円	(要求額) 10,000 千円
指標①目標					
指標①実績				(推計値)	(推計値)
指標①達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %
指標②目標					
指標②実績				(推計値)	(推計値)
指標②達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %

(前年度の成果)

--

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
----------------------

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か) ○ : 必要性が高い      △ : 必要性が低い	
(評価) ○	当該施設は、県内唯一の救護施設であり、県の生活保護業務を適正に実施していくために必要不可欠な施設であるとともに、救護施設として、身体や精神に障害があり、経済的な問題も含めて日常生活を送ることが困難な人たちが、健康に安心して生活するために必要な施設である。 今回の大規模改修については、現在、市が策定中の個別施設計画に基づくものであり、今後も施設を適正に維持していくにあたり不可欠である。
・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) ○ : 概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △ : まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価)	
・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) ○ : 効率化は図られている      △ : 向上の余地がある	
(評価)	

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止 (理由)
---------------------